

平成 28 年 6 月 17 日

各 位

会 社 名 マーチャント・バンカーズ株式会社
代表取締役社長兼 CEO 一 木 茂
(コード 3121 東証 2 部)
問合せ先 執行役員 CFO 兼財務経理部長 高 崎 正 年
(TEL 03-5224-4900)

当社投資事業に関する進捗状況のお知らせ

当社は、企業価値の向上のため、平成 28 年 3 月 15 日付で「投資事業に関する方針策定のお知らせ」におきましてご報告させて頂きました方針に基づき、投資案件等の開発に取り組んでおりますが、現段階における進捗状況並びに具体的な方向性をご報告させていただきます。

1. 医療関連事業

医療関連事業につきましては、「投資事業に関する方針策定のお知らせ」にて、注力すべき事業として掲げさせて頂きました。

医療関連事業は、これまでも、

① 愛媛大学医学部附属病院への病院食の提供

当社運営の「ホテル JAL シティ松山」(愛媛県松山市)のシェフが監修し、「食欲が落ちても手を付けたくなる」病院食を、愛媛大学医学部附属病院において提供しております。毎日 1 回 500 食で 1 日 3 回の 1500 食を、患者様の病状にあわせたメニューで提供しております。大変画期的で、患者様からも美味しいと好評を得まして最先端の医療サービスを紹介するテレビ番組で取り上げられました。こうしたより高い付加価値を求められる医療サービスの在り方のひとつとして注目を集めております。

② 株式会社アドメテックへの投資

株式会社アドメテックは、熱による癌治療に取り組む TOKYO PRO MARKET に上場する愛媛大学発ベンチャーであります。当社は、サポートを行いながら企業価値の向上を企図するハンズオン投資案件のひとつとして、現在 10.5%を出資しております。

といった形で積極的に携わってきた事業領域であります。これらの実績や経験ならびにノウハウを活かし、わが国の定評ある医療サービスを海外に提供するサービス等各種の医療サービスの供給サイド並びに需要サイド双方のニーズにマッチングする投資や事業に取り組んでいるところです。

2. ホテル事業

ホテル事業は、2020 年東京オリンピックや我が国の観光立国としての政策を背景に、インバウンドの増加という実績を伴いつつ、今後の成長分野としても注目されている事業分野です。

このようなホテル事業に対する追い風は、「JAL シティ松山」や「加古川プラザホテル」の運営においてその恩恵を受けております。さらに、当社では出資先の株式会社ホロニックや他のホテルオ

ペレーション会社へのアドヴァイスを通じまして等積極的にホテル事業に携わってまいりました。

今後、さらなる増加が期待され、多様なニーズを持ったインバウンドに対して、様々なサービスにビジネスチャンスが期待できますので、当社の強みであるホテル事業における実績やノウハウを事業意欲が旺盛な事業者との協業・提携を通じて活かすべく様々な事業者との接触を行っております。

3. その他注目すべき投資分野

- ・ I o T
- ・ フィンテック
- ・ ビジュアルコンテンツ

この分野は今後とも成長が見込まれていますので、投資を積極的に検討していきます。

4. ファンド等金融スキームの活用

当社は、不動産証券化やファンドの組成・運営といった金融スキーム、事業再生やM&Aを経験してきた役職員を擁していますので、当社が注目する上述の諸分野に対しての当社による投資や業務提携あるいはM&Aに加えてファンドの活用も選択肢の1つです。

さらに、当社には、海外の大手航空会社向けの航空機ファイナンスリースなど、航空機を活用した金融商品の企画・開発・販売を行いました役職員もおり、金融機関から航空機リースについてご提案を頂いております。新興国の経済発展等により一層のグローバル化が進む過程で航空機需要の拡大が期待されますのでその事業化の検討を行っております。

5. 今後の開示

新規投資案件等についての重要な意思決定や契約締結が行われました後にすみやかに開示させていただきます。

また、こうした取組み状況や「投資事業に関する方針策定のお知らせ」にしたがいました案件開発につきましては、今後、定期的にご報告させていただきます。

当社は平成28年3月15日付で開示させていただきました「投資会社としての再出発」に基づきいわば、「守りの経営」から「攻めの経営」への転換期にありますので、今後投資家各位のご理解を深めて頂く機会も頂きたいと考えております。

以 上